

精

醫



第342号 平成19年1月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 長村吉朗

年 頭 に 際 し て

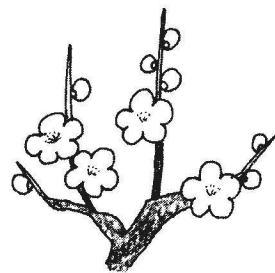
会 長 長 村 吉 朗

謹んで初春をお慶び申し上げます。本年も、皆様方とご家族にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

さて、本年の9月22日に京都市学校医会創立100周年の記念式典を挙げる予定となっております。学校医会が明治31年に産声を上げてから既に100年以上が経過しているわけですが、これまでに先人のご苦勞に感謝する一つの大きな区切りとしたいと考えております。一人でも多くの方々のご参加を希望しております。

昨年は教育分野におきましては、高等学校での単位未履修問題と、いじめ・自殺の多発が問題となりました。また文言は違いますが、愛国心の教育などを盛り込んだ教育基本法の改定も行われました。また医療分野では医療保険と共に介護保険の改訂が実施され、予想以上の厳しい改訂の現実にとまどいを覚えた方も多くいられたのでは無いでしょうか。近年とみにひどくなっている改悪の程度と、何よりその一般市民に周知のなされないこと、また熟慮に欠ける事が原因と思われる問題点の多発など、私などはいまだに腹立ちが収まりません。さらに保険制度以外でも、昨年前半は一週間ごとに変更される予防注射に対する実施方法などで振り回されました。本年は保険制度の改定は予定されておらず、平穩で、怒ることのない一年であってほしいと念じております。しかし医療を取り巻く状況は厳しくなる一方で、医療モールなど新しい形態の医療機関も出現してきており、施設の都合で診療日が日曜祝日に設定されたり、診療時間も以前からの京都方式といえる午前

診と夜診の時間設定より変化して、医師会活動に支障を来したり、学校医としての仕事の時間を取ることが難しくなっております。また、新しく右京区に併合されました旧京北町など周辺地域での医療過疎とも言うべき状況により、学校医のなり手の確保が難しくなって来ている地区もあります。また心の問題に加えて、いじめに対する心のケアや、軽度発達障害に対する取り組みなど新たな取り組みを必要とする課題も山積しております。このように学校医会としましてもいろいろな問題を抱えてはおりますが、会員がお困りの事がございましたら学校医会までご連絡下さい。これまで同様、小回りのきく活動で一つ一つ出来る限り対応していきたいと考えておりますので、本年も宜しくごお願い申し上げます。



新年のご挨拶

京都府耳鼻咽喉科学校医会会長 井上靖二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の先生方におかれましてはご家族おそろいで新年をお祝いされたことと存じます。

平成19年は京都市学校医会が創立して100周年を迎えられる記念すべき年でもあります。長い歴史とその間の活躍、実績に敬意を表すると共に心よりお祝い申し上げます。

京都府耳鼻咽喉科学校医会は昭和63年に創立され、同時に京都市学校医会に参画させていただきました。ここで京都府耳鼻咽喉科学校医会の発足の経緯を少し紹介させていただきます。昭和33年4月10日に「学校保健法」が公布され、個々の児童生徒の健康状態を教育に反映させることになりました。当初、耳鼻咽喉科学校健診は耳鼻咽喉科健診医（嘱託医）によってスタートしました。耳鼻咽喉科健診医が学校医として法的に認定されたのは昭和45年になってからです。その後、京都府下の市町村、京都市に耳鼻咽喉科学校医が徐々に認定され、昭和63年ようやく京都府耳鼻咽喉科学校医会が発足したわけです。しかし、府下には耳鼻咽喉科学校医を未だ認定していない市町村があり、認定への働きかけを今後も努力する所存です。

昨年も学校におけるいじめ、いじめに起因する自殺、その他誘拐、殺人など痛ましい事件が多発いたしました。こどもを取り巻く環境はますます悪くなっている印象です。このような状況を受けて、安倍内閣は教育再生を最重要課題として「国と郷土を愛する態度」、「公共の精神」などを盛り込んだ教育基本法に昨年12月改正いたしました。しかし法律を変えただけでこれらの問題が解決するとは到底思えません。こどもの教育は家庭、学校、地域社会の三者が現場で連携協力して初めて実を結ぶものです。親が家庭ですべき教育を学校に丸投げしたり、こどもの心をつかむ先生が学校にいなかったり、昼間は人のいない地域社会の空洞化など問題は山積しております。我々学校医も学校、地域社会に積極的に飛び込み、生涯の展望にたってこどもの心身の保健環境

改善に取り組む必要に迫られているといえます。

社会に開かれた耳鼻咽喉科医療の一環として、今年も「耳の日」公開記念講演会を開催いたします。

場 所：京都産業会館シルクホール（四条烏丸）

日 時：平成19年3月4日（日）

開会 1 時45分～閉会 4 時40分

（開場 1 時15分）

講 演：「聞こえの仕組みと難聴トピックス」

京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授

伊藤 壽一先生

講 演：「補聴器を手に入れて使いこなそう」

日耳鼻京都府地方部会

補聴器キーパーソン 安野 友博先生

難聴で困っておられる方、補聴器に関心のある方がおられましたらこの公開記念講演会を是非ご紹介ください。講演終了後、同じフロアにて難聴に関する個別相談も致します。

新しい年を迎え、京都市学校医会の一層の発展と会員の先生方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

